

民主党・無所属クラブ  
レポート

# 区政 白石けい子



練馬区貫井育ち、高松在住。昭和29年生。練馬二小・貫井中・都立第四商卒。  
保育士・社会福祉任用主事。NPO法人 ケアステーションぽかぽか設立者。  
「保育&介護」施設を高松にて提供中。第16期区議会に、福祉現場の声を届ける  
ため区議会議員となる。現在、2期目。区民生活常任委員会、災害対策等特別委員  
会・農業委員会所属。会派副幹事長 家族 夫・子ども4人 猫 1匹

18

発行 民主党・無所属クラブ  
練馬区豊玉北6-12-1西庁舎6F  
Tel 03-3993-1111(内7621~8)  
fax. 03-3993-1197



第17期 練馬区議会 民主党・無所属クラブ一同  
左から、白石けい子・石黒達男・土屋ひとし・浅沼敏幸・倉田れいか

基礎自治体の次勢が問われる時代。  
平成24年度予算決定・議会報告  
未来を見据えた施策を求む！

平成24年度の練馬区予算審議が終了した。経  
済状況の低迷など、社会情勢の不安の中、一般  
会計二千二百八十二億円の予算でスタートし  
ていくことになった。確実に少子高齢者社会を  
迎える、この練馬区。今だけを見る施策ではな  
く、将来を見据えた施策が求められる。そこで、  
問題点を区長に訊いた！

### ▼避難拠点要員参加 しやすい職場づくりが 区民の命を守る▲

区職員が「避難拠点要  
員」として参加する避難  
拠点運営連絡会では、  
平常時から、区・学  
校の拠点要員やPT  
A・町会等の意思疎  
通を図ることを第一  
任務としている。だ  
が、教員や区職員は  
日頃の業務に忙殺さ  
れ、業務外となると、  
参加が難しい場合が  
あると聞く。「教・  
職員として当然」と  
言われても、そうは  
いかないのが現実だ。参  
加しやすい業務環境の整  
備や付加価値を付けてい  
くことが、先決ではない  
だろうか。



24年度の保育所入所の  
倍率が約8倍となってい  
る現状を解消をすべく、  
7園の私立保育園・認証  
保育所二カ所が新たに開  
設される。  
だが、保育支援は、就  
労する家庭だけの支援対  
策ではなく、子育て家庭  
の一時利用も可能となる

### ▼保育所待機児童対策 家庭の子育て支援対 策も急務▲

27年度には「総合子ど  
も園(仮称)」の制度が  
スタートするが、システ  
ムへの検討課題がある。  
さまざまな選択肢から、  
子ども支援施策となるよ  
う注視していきたい。

▼日大光が丘病院Ⅱ引き継ぐ地域医療振興協会への不安。医療低下を招かぬ支援体制を▲

日大練馬光が丘病院と地域医療振興協会の引き継ぎ状況は、東京都に対する申請書類の提出が当初のスケジュールより大幅に遅れているなど、地域医療の維持が懸念されている。開発許可申請などの手続きを急ぐとともに、医療機能を低下させないために、十分な医療スタッフの確保を引き続き努められたい。さらに遺漏のない引き継ぎのために、四月一日以降も可能な限り日大の医療スタッフの協力が得られるよう、区の支援体制を求めたい。

▼介護保険料Ⅱ四月より、大幅に値上がりとなる。格段の配慮を求めたい▲

第5期の介護保険料改定については、利用者の自然増、特養や老健施設整備の拡充などから値上げをせざるを得ないことは認める。だが、低所得者層にとっては特段の配慮を求めている。

▼医療給付費の増大Ⅱ保険料の値上げを誘発させていることも啓発し、正しい診療体制の働きかけを▲

一般財源から、毎年、百億円余の財源が投入されている。ドクターショッピング・ドクターサロン（重複・頻回受診）と言われるような安易な診療も多く、区も区民とともに、医療給付費の抑制をどのようにすべきか啓発していくことが必要。その第一の対策として、医師会・歯科医師会・薬剤師会等の医療連携を求めたい。

また、若い世代への年金加入啓発が行われてこなかった事実もある。これからは、社会保険労務士会と連携し、加入率向上に向け指導活動をすすめていくことを求めたい。



1月2日 父の老健施設にて慰問ライブ

### 「PSN」考案

【高齢者の定義が変わる】

これまでの「65歳以上＝高齢者」としていたが、国は、高齢者の定義の見直しを始めた。

「社会保障と税の一体改革」の具体案も示されている。今後の財源状況は、経済情勢だけではなく、年少人口・高齢者人口動態の推移の影響も考えなくてはならない。高齢者を一律で支えが必要というという固定概念を改め、団塊の世代を含め、地域の中にある元気な高齢者の意欲と能力を活用し、地域コミュニティの確立と地域の支える側・担い手となるような支援体制が必要となる。

### 【受益者負担割合のバランスも重要】

今後の扶助費（児童福祉・生活保護・高齢者福祉・医療等）も、財政の確保や状況からバランスを考えていかななくてはならない。

また、区民サービスのバランスを考えた場合、受益者負担の割合の研究は重要となる。

### 【これからの活動予定】

- 3月19日 区立中学校卒業式参列
- 23日 区立小学校卒業式参列
- 28・29日 被災地に会派視察
- 場所 ①宮城県女川町・石巻市・仙台市
- 目的 ①東京都が受け入れた女川町のガレキの状況調査
- ②石巻市コミュニティFM局での災害時の意義と役割
- ③災害時のペット避難対策について支援団体と懇談会
- 4月5日 練馬駅北口（仮称）区民・産業プラザ予定地視察
- 6日 区立小学校入学式参列
- 8日 練馬駐屯地自衛隊 周年式典参加
- 9日 区立中学校入学式参列
- 10日 農業委員会出席

### □後記□

政権交代から3年が経ち、末端の基礎自治体であるこの練馬区も、民主党政策が次々と示され、24年度予算にも反映されてきている。当然、民主党議員として今議会審議は賛成をした。だが、決して、樂觀できる状況でないことは、誰もが感じており、特に、これからの時代は、財源の問題が大きく影響し、将来の子どもたちへの負担をどのように軽減させられるか？「あれもこれも」から、あれか、これか」のメリハリと行動力が求められている。

今、都市直下型大地震の到来が予想され、どのように命を守り、備えればよいのか？ 誰もが不安になっている。昨年震災直後に、福島県いわき市久ノ浜へ視察に行った際、大変な状態の中で、復興に全身全霊を捧げていた若者たちから「子どもたちを、僕たちと同じ目にあわせないにして下さい」と熱い訴えを聴き、多くの事を学んだ。今年、有志とともに、釜石市から学んだ「練馬型でんごをつくり、地域に啓発をしていくことを始めた。「地震は怖い」と恐れるだけでなく、「地震に自信を」である。一緒に活動をしていただける多くの方々のお待ち致しております。